

NPO法人美しい村・鶴居村観光協会 (事例①：インバウンド受入体制の整備)〔北海道阿寒郡鶴居村〕

- 既存の地域資源である酪農や美しい自然等を活用し、地域経済や地域の活性化に資する農泊を展開。
- 英語HP、英語SNS、Wi-Fi、キャッシュレス決済等、インバウンドを意識した受入を実施。（宿泊の5割がFIT）

【地域の概要】



鶴居村

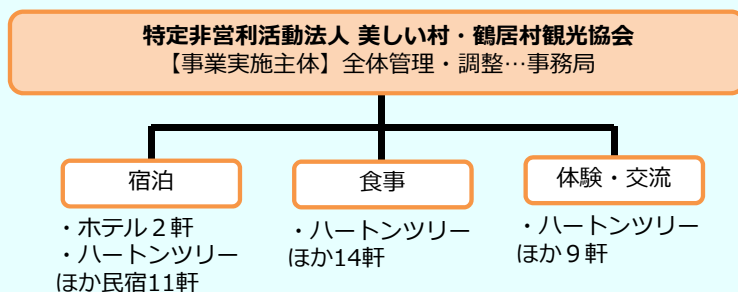
＜地域の特徴＞

- 酪農を主体とした農業が行われており、釧路湿原国立公園を始めとする美しい景観が広がっている。
- 日本の特別天然記念物に指定されているタンチョウヅルの保護活動が行われており、多くのタンチョウヅルが生息する。



タンチョウヅル

【実施体制】



【連携団体】

- ・タンチョウコミュニティ（農泊ガイドの育成、検討会運営）
- ・鶴居村スローライフ実行委員会（農村女性による新商品開発、モニターツアーの実施協力、プロモーションの実施）
- ・ハーブマーシェ/くしろサイクル・ツーリズム推進協議会/鶴居村商工会/釧路川流域村観光推進協議会/鶴居村あぐりなつとわ〜く/くしろ長期滞在ビジネス研究会（取り組みへのアドバイス、サポート）
- ・鶴居村役場 企画課 産業振興課（取り組みのサポート、運営補助）

- H30年9月に関係者を構成員として鶴居村農泊推進協議会を設立。

＜運営体制＞

- 村の基幹産業である酪農を応援するため、レストラン、チーズ工房、一棟貸しコテージ、ゲストハウス等からなる施設「ハートン・ツリー」が中心となって、地域資源を活用した農泊を推進。
- 観光協会が中心となり、平成30年9月に地域協議会を設立し、地域の宿泊施設を対象としたインバウンド対応セミナーの開催、ガイド業者で連携し四季を通して提供できるプログラムを開発する等、地域での取組を進めている。



インバウンド対応セミナー

【取組内容】

＜宿泊・食事＞

- 宿泊とレストランがセットになった施設で、農村に暮らすようにゆっくりと滞在してもらおうスタイルを目指す中で、ゲストとの交流を重視。
- 地域の野菜や乳製品、チーズ製造の過程で生まれる副産物「ホエイ（乳清）」等を活用しメニューを開発。

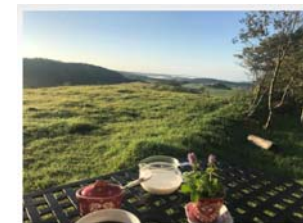
カフェ&レスト
「ハートン・ツリー」

＜特徴的な取組＞

- FITをターゲットとして、英語のWEBサイトは写真を中心としたデザインとし、SNSを英語で発信。Wi-Fi、キャッシュレス決済にも対応。
- WWOOFのホストとして外国人を受け入れ、外国人ボランティアがインバウンドの接客等にも対応。

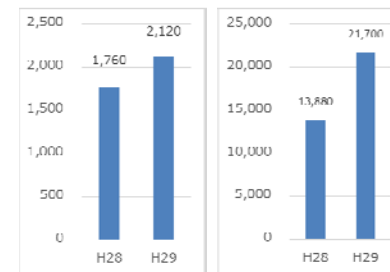
※WWOOF：有機農業等を実施する農家がホストとなり、食事と宿泊場所を提供し、そこで手伝いたい・学びたいと思っている人がボランティアとして手伝うしくみ

- インバウンドの予約の9割以上がBooking.comやAirbnb等のWebサイトからであり、予約後にメールで細かく質問されることが多いため、素早く英文で対応できる者を専門で雇用。
- 宿泊の5割がFITで、東南アジアが多い。タンチョウヅルのベストシーズンである2月はインバウンドが8割以上に及ぶ。



●Our concept
Hearton Tree is a farm restaurant located in Tsuru Village in the eastern part of Ishikari, Japan's northernmost island. It is operated by the Old-Fair-Link Hokkaido Company. You will feel right at home here with all our homemade cooking. Try out our popular pizza or bread bowls, or have some of our European-style fine sugar sweets. We also have some fun activities you can try out with your family, including cooking lessons, beer tastings, or stay in our Guest House, where you can enjoy views of the star-filled night sky.

英語版HP

外国人宿泊者数
(人)売上額
(千円)

(出典) 鶴居村観光協会への聞き取り